

錯体ナノコロイド水溶液 安全性試験について

錯体ナノコロイド水溶液は、
経口投与毒性試験・細胞毒性試験・皮膚貼付試験・
皮膚一次刺激性試験・皮膚感作性試験・復帰突然変異試験
において安全性を確認しています。

▶経口投与毒性試験 [試験コード番号：06-I A1-0301]

- 検査機関 生活科学研究所
- 試験内容 雄雌マウス6匹に単回強制経口投与した。
- 試験結果 LD50値はいずれも、2,000mg/kg以上と判定。異常は見られなかった。

▶細胞毒性試験 [試験コード番号：06-XI-0303]

- 検査機関 生活科学研究所
- 試験内容 ハムスター肺細胞(V79)に対して、100mg/mLの濃度で試験を行った。
- 試験結果 IC50値は100mg/mL以上と判定。細胞増殖抑制は認められなかった。

▶皮膚貼付試験 [試験コード番号：06-XII-0314]

- 検査機関 生活科学研究所
- 試験内容 健康なヒト20名(男：5名、女：15名)を被験者として、被験物質をパッチテスト用絆創膏円形布地部に塗布し、上腕部内側に48時間接触後、観察評価を行った。
- 試験結果 被験者20名全員に一次刺激性は全く認められなかった。

▶皮膚一次刺激性試験 [試験コード番号：06-IX A4-0301]

- 検査機関 生活科学研究所
- 試験内容 6匹のウサギに24時間接触させ、48時間観察を行った。
- 試験結果 P.I.I.値は0.0で、非刺激性であると判定。

▶皮膚感作性試験 [試験コード番号：06-XI A3-0301]

- 検査機関 生活科学研究所
- 試験内容 Maximization Test法によりモルモットを用い、皮膚感作性試験を行った。
- 試験結果 48及び72時間後に当該試験法により、感作性がないもの(陰性)と判定。

▶復帰突然変異試験 [試験コード番号：06-XII-0301]

- 検査機関 生活科学研究所
- 試験内容 プレインキュベーション法により5菌株を37°Cで48時間培養後、復帰突然変異コロニー数を数えた。
- 試験結果 本被験物質の変異原性は陰性であると判定。